# ODF図かGPODFDisplayソフトウエアによるrandom削除

r a n d o m 方位の説明と、ODF 図からr a n d o m 方位の削除法と L a b o T e x にてr a n d o m を含むODF 図の VolumeFrcation 求め 更に Random 方位を除いて VolumeFraction の求め方を説明します。

> 2021年08月30日 *HelperTex Office*

# r a n d o mは方位密度1.0以下に現れる。 例えばb r a s s 50%+r a n d o m 50%では



#### brass100%では







Normalize は、削除後の合計方位を削除前と一致させる。

本機能はVer2.24以降に追加されています。

#### r a n d o m を 削除 した O D F 図

#### Normalize

### Normalize なし



brass100%の最大方位密度は269.54、random削除は273.09ほぼ一致する。

内部計算は、削除する前の合計方位 ZODF、random 削除した合計方位 AODF、 削除したODFをNODFとすると

NODF(f 1, F, f 2) = NODF (f 1, F, f 2) \*ZODF / AODF

しかし、規格化は方位毎に4:2:1の比率の方位をrandom削除後、同一倍率で増加させるのは 問題のため、通常規格化なしが妥当





配向データ50%+random50%のVolumeFraction



#### 配向データ90%+random10%のVolumeFraction



random50%で5%、random10%で2%と変化している。

配向データ90%+random10%のODF図からrandomを削除して VolumeFraction を計算 VolumeFraction は LaboTexの機能であり、random を削除した ODF 図を LaboTex の Job に 書き込まなければ VolumeFraction 計算はできない。

LaboTexODFFile ソフトウエアは、ODF 図の平滑化や random 削除を行った ODF 図を Job に書き込む 機能を有する。この機能を使用して、削除前の Job1 にある ODF 図を読み込み Job2 に書き込む

#### 配向データ90%+random10%のODF図を読み込む



## ファイルを選択すると ODF 図が表示される。



バイナリーの P10.ODF をテキストデータに変換し表示する





表示された Job2 から VolumeFraction を計算する。



これは、randomを除いた方位の定量を行っている。